

アジア鉄道技術研究フォーラムを開催しました

平成 28 年 2 月 5 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、ベトナム、タイ、台湾の鉄道事業者等を迎え「アジア鉄道技術研究フォーラム」を下記のとおり開催しましたのでお知らせします。

本フォーラムは、鉄道総研がアジア諸国での鉄道ネットワークの発展に研究機関としての立場で貢献することを目指し、同地域での鉄道関連組織の技術開発・研究活動の向上や組織間の協力関係の構築を推進するための情報交換の場を形成することを目的に開催したものです。

当日は、ベトナムから交通運輸省次長のディン=マン・デュック氏、タイから国立科学技術開発庁アドバイザーのチャヤコーン・ピアバンデクン氏、台湾から台湾交通部高速鉄路工程局部門長の宗鴻康（ハングーカン・スン）氏、台湾高速鉄路股份有限公司（台湾高鉄）副社長補佐の史明嘉（ジェームス・シイ）氏ほか1名、台湾鉄路管理局電気部長のサン=チュイ・チェン氏ほか1名の計7名が海外から参加されました。また、国内からは鉄道事業者、メーカー等から約50名の方に聴講いただきました。

フォーラムでは、ベトナム交通運輸省からはベトナムの鉄道システムの現状と開発戦略、タイ国立科学技術開発庁からはタイにおける国立鉄道研究所の設立、台湾交通部高速鉄路工程局からは車両のメンテナンスと省エネルギーのためのメンテナンス管理情報システム(MMIS)の使用、台湾高鉄からは保守車両の位置検知と進路制御についての講演をいただきました。また、鉄道総研からは日本における鉄道プロジェクトの評価のための旅客需要予測および鉄道分野における国際規格の現状について講演を行いました。

各々の講演に関するディスカッションでは、各話題に対応した鉄道総研の研究開発事例等の紹介も交えながら、参加者間で熱心な議論が行われました。

参加者の皆様には、鉄道総研が得意とする研究開発分野や技術的ポテンシャルを知っていただく機会となりました。

記

日 時：平成 28 年 1 月 21 日(木) 13:30~17:00
場 所：鉄道総研 国立研究所 インタラクションスクエア
プログラム：（講演順）

開会の挨拶 鉄道総研理事 奥村文直

講演① The Overall existing conditions and development strategy of railway system of Vietnam

《ベトナムの鉄道システムの現状と開発戦略》

ベトナム交通運輸省 ディン=マン・デュック氏

講演② The establishment of National Railway Research Institute in Thailand

《タイにおける国立鉄道研究所の設立》

タイ国立科学技術開発庁 チャヤコーン・ピアバンデクン氏

講演③ Passenger demand forecasting for railway project evaluation in Japan

《日本における鉄道プロジェクトの評価のための旅客需要予測》

鉄道総研 信号・情報技術研究部 主任研究員 柴田宗典

- 講演④ Recent status of international standards in railway field
《鉄道分野における国際規格の現状》
鉄道総研 鉄道国際規格センター長 田中裕
- 講演⑤ MMIS use for Rolling Stock Maintenance and energy saving
《車両のメンテナンスと省エネルギーのためのメンテナンス管理情報システム(MMIS)の使用》
台湾交通部高速鉄路工程局 宗鴻康氏
- 講演⑥ Railway Maintenance vehicle positioning and routing system
《保守車両の位置検知と進路制御》
台湾高速鉄路股份有限公司 史明嘉氏



写真：講演会の様子